

2017年7月21日
日本生命保険相互会社

トルコ共和国での官民連携による病院開発プロジェクトへの融資について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、この度、双日株式会社の子会社とトルコ建設大手ルネサンスグループの共同出資による特別目的会社「イスタンブール PPP ヘルスケア投資」が、社会インフラ整備として、トルコ共和国イスタンブール市にて計画する大型病院施設の開発・運営プロジェクトへのシンジケートローン融資契約（以下「当融資」）に調印しました。

当社は 2017 年度より成長・新規領域への融資機能を強化する観点から、「ストラクチャードファイナンス営業部」を新設し、海外プロジェクトファイナンス案件等への取組を本格開始しております。当融資はストラクチャードファイナンス営業部設立後、初の海外プロジェクトファイナンス案件となり、シンジケートローンの組成段階から参加します。

トルコでは、官民連携によるプロジェクトを通じて、病床数が不足する国内の医療環境の整備を積極的に進めています。また、日本の厚生労働省はトルコ保健省と医療・保健分野に関する協力覚書を締結しています。今回の病院開発プロジェクトは、日本からの投融資を受け同国最大規模の病院設置を図るものであり、当融資には株式会社国際協力銀行による保証または株式会社日本貿易保険の保険が付される等、国家的支援プロジェクトに相当するものと考えています。

なお、当社は 2016 年度、国連責任投資原則（PRI）（※）への署名を行っているほか、中期経営計画「全・進 - next stage -」（2017-2020）において、4 年間で 1.5 兆円の成長・新規領域への投融資を目指す中で ESG 債等への投融資 2,000 億円を目標としており、海外ヘルスケア分野へのプロジェクトファイナンスを行う当融資もその一つと位置付けています。

※ 持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等が ESG 課題を投資の意思決定に組込むことを提唱する原則

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、海外プロジェクトファイナンスをはじめとする成長・新規領域への投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに国内外の経済・産業発展に寄与してまいります。

<案件概要>

企業名	イスタンブール PPP ヘルスケア投資 (双日グループ 30%出資・ルネサンスグループ 70%出資)
調印日	2017年7月20日
当社融資額	175億円

<病院概要>

所在地	トルコ共和国イスタンブール市イキテリ地区
開発面積	789,031 m ²
主要施設	一般病棟、循環器病棟、癌病棟、婦人病棟、小児科病棟、 整形外科病棟、理学病棟 他
病床数	2,682床
病院運営	トルコ保健省
開院予定	2020年10月

【完成予想図】



(出典：ルネサンスグループ)